

アクション・京都 NEWS



許すな！安倍「改憲発議」！ 3・2春の憲法大学学習会に310人が参加 改憲断念へ向け3000万署名と対話を進めよう



憲法9条京都の会が安倍政権の改憲発議を許さない世論と運動をさらに広げていくため、「春の憲法大学学習会」を龍谷大学内で3月2日開催し、310名が参加し熱心に学び、改めて参議院選挙で立憲野党が勝利するまで、油断することなく、3000万署名による対話と、世論を広げていく意思統一をしました。

冒頭代表世話人の木戸衛一さん（大阪大学大学院教員）があいさつし「改憲をねらう安倍内閣の動きをよく学び、改憲を阻止するまでたたかおう」と訴えました。学習会は九条の会事務局の渡辺治さん（一橋大学名誉教授）が「2019年、正念場の憲法情勢と運動の展望」と題して講演しました。渡辺さんは「メディアでは、改憲はもうあきらめたなどの報道もあり、マスコミの取り上げ方も小さくなっているが、安倍首相は決してあきらめていない。私たちのたたかいや世論の力で安倍首相の改憲策動を遅らせてきた。しかし、改めて全国の小選挙区総支部に対して取り組みを強めるよう指示し、自衛隊の隊員募集の自治体の姿勢を口実に改憲の必要性を語り、現憲法下でも圧力を加えている」と述べ、今の通常国会で憲法審査会を動かし、改憲発議する可能性を捨てていないと強調されました。「安倍首相はもともと2020年に改憲を仕上げると言っており、改憲発議が参議院選挙までに出来なくても、

改憲勢力で三分の二を確保しようとしている。参議院選挙で立憲勢力が勝利して、大きく前進する事が必要。少しの油断をすることなく、3000万署名の推進と対話を参議院選挙まで進め、市民と野党の共同で改憲を阻止しよう。今年こそ未来の分岐点の年！全力で戦おう」と訴えました。その後、「京都の会」事務局長の奥野恒久さん（龍谷大学教授）が行動提起を行いました。

自衛隊に情報流すな！市民街宣とデモ 青年やお母さん・市職員組合員もスピーチ 150名が参加！市役所一周デモで訴え！



「わたしの個人情報守って！市民の会」が呼びかけ、3月4日午後6時30分から「自衛隊に情報流すな！市民街宣とデモ」を京都市役所前で開催、150名が市役所前スピーチと市役所を一周するデモに参加しました。

スピーチは、市民の会呼びかけ人の福山弁護士がこの間の活動経過を紹介し進行しました。情報停止請求している

2名のお母さんは「子供と京都市の方針を話し合う中で、自ら『勝手に情報を公開してほしくない』と言って手続きをした。若者にもっと知ってほしい」とスピーチ、18歳の青年は「市民の命や生活を守る京都市政が何してるんや。本人の同意もなく個人情報を渡すのは行政として人としてどうかと思う」とスピーチしました。続けて、市役所の自治体労働者や憲法共同センターから「自治体が赤紙を配った戦前を繰り返してはいけない」と訴えました。また、市の対応を共産党の井坂市議員が報告しました。

スピーチの後市役所前から「市長は市民の情報をわたすな！個人情報私のものだ！」などとコールしながら市役所を一周しパレードしました。

【日程】

- 9日（土） 東海道53次全国いっせい宣伝 11時30分～ 三条大橋
 - 19日（火） 定例「19日行動」 午後6時30分～ 京都市役所前
- ◆3000万署名到達 401,910筆 40万筆を突破！！◆

発行：「安倍9条改憲 NO！ 全国市民アクション・京都」

連絡先：〒612-8081 京都市伏見区新町1丁目365 憲法9条京都の会
FAX 075-603-8135 メール action.kyoto@gmail.com
振込口座(ゆうちょ銀行)全国市民アクション・京都 (番号)00960-5-173844